

みこし運行 生徒と交流

松山・星岡地区 松山学院高生が参加

住民と協力し、松山市星岡地区の大みこしを担ぐ
松山学院高生



松山地方の秋祭り「王子八幡会」は7日、校（同市北久米町）の
で、松山市星岡地区の近くにある松山学院高 生徒と協力し大みこし

を運行した。今春新調した記念に実施。男女の生徒32人と住民、子どもら計約200人が一緒に盛り上がった。

（3面参照）

同会は、長らく途絶えていた大人みこしを復活させようと、約5年前から準備して新調した。みこし運行に当たり、若い世代にも祭り文化に触れてもらおうと、防災訓練や清掃活動などで交流があった同校に呼びかけた。

生徒は最初、地区住

民と共に恐る恐る担いでいたが、少しずつ慣れ「ヨイサ、エイサ」のかけ声も大きくなっていった。5軒回った頃には、生徒だけで大

みこしを担いで差し上げも。地区の担ぎ手は「どんどん入ってね」など話しかけ、積極的に交流していた。

普通科2年の団上可紗さん(17)は「秋祭りに参加するのは小学生以来で、みこしを担いだのは初めて。貴重な機会で楽しい」と語った。同3年の青木悠真さん(17)は「地域の人に温かく声をかけてもらい、肩は痛いけどいい思い出になる」と笑顔だった。

王子八幡会の大原敬二会長(62)は「若い力がはじけていていいなと感じる。これを機会に交流をさらに広げ、来年以降も参加してもらえたら」と話した。

（香川華代）